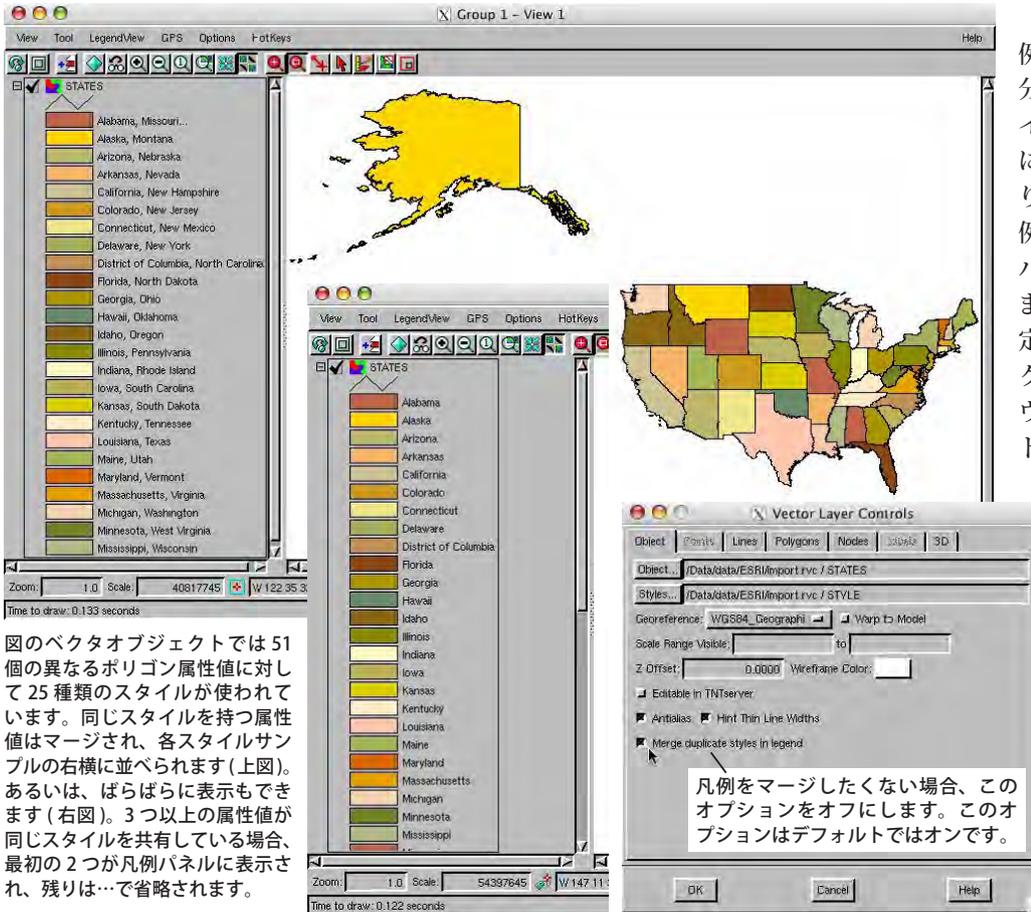


凡例をまとめる



図のベクタオブジェクトでは51個の異なるポリゴン属性値に対して25種類のスタイルが使われています。同じスタイルを持つ属性値はマージされ、各スタイルサンプルの右横に並べられます(上図)。あるいは、ばらばらに表示もできます(右図)。3つ以上の属性値が同じスタイルを共有している場合、最初の2つが凡例パネルに表示され、残りは…で省略されます。

ベクタオブジェクトの凡例を凡例パネルに1つ1つ分けて表示したり、同じスタイルを使用した凡例を1つにまとめるオプションがあります。同じスタイルの凡例をまとめると、よりコンパクトな凡例パネルになります。このオプションを設定するトグルボタンは〈ベクタレイヤコントロール〉ウィンドウの[オブジェクト]タブパネルにあります。

左図の例では、凡例のマージをオンにすると、全凡例がウィンドウに収まります。マージをオフにすると、全凡例を見るには凡例パネルをスクロールしなくてはなりません。普通、全部の凡例が見える方がコンパクトさより重要だと思うでしょう。属性の情報はデータティップに表示できる

るので、完全な凡例リストを作ることはそれほど重要ではありません。

[重複する凡例スタイルのマージ (Merge duplicate styles in legend)] オプションは、凡例パネルだけでなく、レイアウト中のマルチオブジェクト凡例にも影響します。この設定を変更すると、そのベクタを使用している既存のマルチオブジェクト凡例も変わります。もしレイアウトにマルチオブジェクト凡例を使用している場合、列がずれたり他の自動凡例の機能が影響を受けますので、凡例調整をする前に同一スタイルの凡例をマージするかどうか決めた方がいいでしょう。右下の図のように、テキストを編集した凡例はマージによって変化しません。

Alabama, Missouri	Illinois, Pennsylvania
Alaska, Montana	Indiana, Rhode Island
Arizona, Nebraska	Iowa, South Carolina
Arkansas, Nevada	Kansas, South Dakota
California, New Hampshire	Kentucky, Tennessee
Colorado, New Jersey	Louisiana, Texas
Connecticut, New Mexico	Maine, Utah
Delaware, New York	Maryland, Vermont
District of Columbia, North Carolina	Massachusetts, Virginia
Florida, North Dakota	Michigan, Washington
Georgia, Ohio	Minnesota, West Virginia
Hawaii, Oklahoma	Mississippi, Wisconsin
Idaho, Oregon	

重複するスタイルをマージした場合のマルチオブジェクト凡例

Alabama	Kentucky	North Dakota
Alaska	Louisiana	Ohio
Arizona	Maine	Oklahoma
Arkansas	Maryland	Oregon
California	Massachusetts	Pennsylvania
Colorado	Michigan	Rhode Island
Connecticut	Minnesota	South Carolina
Delaware	Mississippi	South Dakota
District of Columbia	Missouri	Tennessee
Florida	Montana	Texas
Georgia	Nebraska	Utah
Hawaii	Nevada	Vermont
Idaho	New Hampshire	Virginia
Illinois	New Jersey	Washington
Indiana	New Mexico	West Virginia
Iowa	New York	Wisconsin
Kansas	North Carolina	Wyoming

重複するスタイルをマージしない場合のマルチオブジェクト凡例



Alabama, Missouri, Wyoming
Alaska, Montana

デフォルトのマルチオブジェクト凡例のテキストは凡例パネルと同じです。3個以上の属性値に割り当てられるスタイルには…の省略記号が使われます。必要であれば凡例テキストは簡単に編集することができます。変更したい凡例の上で右クリックしてプロパティを選択して、全ての属性値を手入力します。